

令和元年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	桜環境センター余熱体験施設
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市桜区新開4丁目2番1号</p> <p>②施設の設置目的 桜環境センターで廃棄物を焼却した際に発生する熱エネルギーの有効な利用状況を体験でき、市民の健康の維持及び推進を図る場として、余熱体験施設を設置。</p> <p>③施設の概要 大浴場、岩盤浴、ウォーキングプール、トレーニングルーム、娯楽室、レストラン</p>
(3)指定管理者	株式会社エコパークさいたま
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成27年4月1日～令和12年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成29年度 216,875千円、平成30年度216,875千円、令和元年度 226,108千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 318,336人(前年度351,402人) ・稼働率—%(前年度—%) <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大浴場 ・岩盤浴 ・ウォーキングプール ・トレーニングルーム ・娯楽室 ・レストラン <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱体験施設の運営及び清掃
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 226,108千円 (前年度216,875千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 101,548千円 (前年度 101,843千円) ・事務費 9,087千円 (前年度 9,015千円) ・施設管理費 12,842千円 (前年度 10,620千円) ・事業費 27,445千円 (前年度 27,755千円) ・光熱水費 49,185千円 (前年度 52,924千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	アンケート集計を月次報告書に添付して対応について報告しています。また、アンケートのご意見に対する回答を館内に毎月掲示しています。
(8)その他	

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
レストランメニュー	昨年度に引き続き季節限定メニューを年4回提供しました。また、10月1日からグランドメニューを大幅に変更し手づくりを基本とした日々変わる「日替りセット」や「おまかせプレート」、おつまみも同様に「シェフの一品」として280円均一で数種類を提供し手作りと変化を楽しんでいただけるよう工夫しました。
スタジオプログラム	昨年度、体験プログラムを実施し好評をいただきました「太極拳」「貯筋運動」のプログラムを開設しました。また、「水中運動」、「リラックスヨガ」等の体験プログラム実施しました。結果、コロナの影響により3月閉館の中、延べ参加者数は12,019名となり、前年同期間に比べ265名(2%)増えました。
施設運用の見直し	「だいち」の浴室の壁の塗り替えとサウナの座席部分の全面的な板の交換を実施し、ご利用のお客様からも高い評価を戴いています。ご利用者が増える寒い時期には混雑することが多いため、混雑する時間帯がわかる掲示をすることによりお客様を待たせない工夫をしました。
サービスデーの実施	5月、10月に1日ずつ開催し、物販価格の割引、岩盤浴利用料金の半額、レストラン限定メニューの提供等の限定サービスを行うとともに、カラオケ大会やスタジオプログラム参加者による催事を実施することで利用者活躍の場も提供しました。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

令和元年度の入館者数が前年度に比べ33,066名(9%)減少し、318,336名の方にご利用頂きました。コロナの影響により3月が閉館になったのが要因となります。尚、2月迄の累計で比較すると開設以来入館者数は伸び続けている傾向が現れています。また、施設利用マナー向上に関するご意見も頂戴しましたので、館内放送による呼びかけ、館内サイン及び職員の巡回作業の見直しを行い、マナーの向上に努めました。

一方、施設の維持管理としまして、「だいち」の浴室の壁の塗り替えによる防カビコーティング、浴場濾過システムの配管洗浄、トレーニングマシンのランニングベルト交換等、設備関連メンテナンスを適宜実施し、快適にご利用いただけるよう努めました。

提供サービス向上としましては、お客様のご意見を参考にしながら売店の品を入替するなど工夫しました。スタジオプログラムについても、内容を新たに拡充したことにより月平均1,000名を超える利用者数となりました。また、衛生面に配慮し岩盤浴の枕を変え、利用方法を変更するなど快適にご利用いただけるよう努めました。

健康管理対策としましては、のぼせによる体調不良者が多いため、施設としては浴槽の温度を1℃下げ、また、従業員に前年度に引き続き普通救命講習を実施しました。利用者に対しては長時間の入浴を控える、水分補給をする、体調がすぐれないときは入浴しない、体の不自由な方には同性が付き添うといった注意喚起の館内掲示や放送を随時行った結果、体調不良者数が前年度に比べ救急車出動件数が3件、体調不良者数が11件減少することができました。今後も気持ちよく皆様にご利用いただけるよう混雑対応、清掃、安全管理体制を強化してまいります。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:環境局施設部環境施設管理課)

総合評価 (B) ※A~D

- ・利用者数について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月中を臨時休館としたため、前年より減少している。しかし、2月までの利用者数は前年より増加している。
- ・施設の維持管理について、適宜、設備メンテナンス、定期的な館内清掃を行っている。
- ・利用者の安全のため、従業員の普通救命講習を実施するとともに、早急な対応ができるように職員が館内を巡回している。また、のぼせによる体調不良者が多いことから、浴槽の設定温度を見直しを実施している。

以上のことから、市民への利用促進、適正な維持管理における成果があったと評価できる。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

利用者の大半が高齢者であり、施設利用中のトラブル等に適切に対応できるよう管理運営体制の強化が必要である。また、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、衛生面での管理の徹底等、引き続き、快適な施設利用ができるよう、適切なモニタリングを行い必要な指導をしていく。